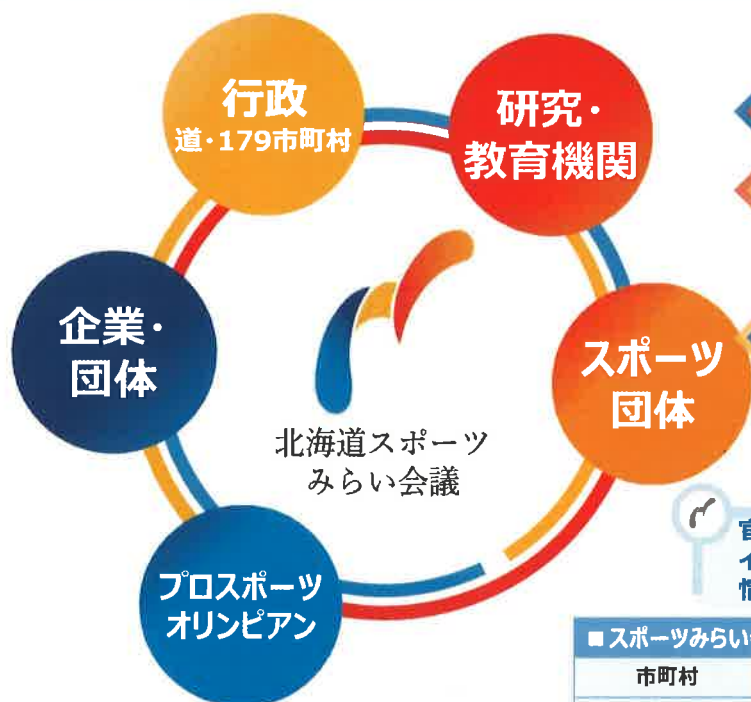




会長：鈴木知事

267企業・団体が参加
(2023.12.1現在)

「北海道スポーツ推進条例」がめざす、

全ての道民が、スポーツを通じた健康で豊かな生活の形成と魅力ある人づくりや地域づくりを推進し、

将来にわたる持続可能な社会を実現に向け、行政や教育機関、スポーツ団体、プロスポーツチーム、経済界その他関係者による協働の取組を推進するとともに、

国際的・全国的な規模のスポーツの競技会及び合宿等の誘致と成功支援、レガシーの継承・発展にオール北海道で連携することを目的に、

令和4年7月に設立

mission
官民連携プロジェクト（企業・団体からの企画提案による道イベントへの協力など）のほか、各種スポーツイベントの相互情報発信・連携を深めていきます

■ スポーツみらい会議を通じて実現できること

市町村	スポーツ振興のほずみ、住民の健康向上、地域に活力
企業・団体	CSR、SDGsの活動を通じた企業価値の向上（自社の商品やサービスのPR）
教育・研究機関	専門的な知見による地域貢献、研究データの収集
プロスポーツ	新たなファン、スポンサーの開拓
スポーツ団体	競技人口の維持・拡大

初年度の取組



する・みる・ささえる人たちをつなぐ

みらい会議設立
（「北海道スポーツのみらいを拓く集い」開催）

7月

北海道のスポーツ情報を発信

公式SNSでスポーツ情報発信開始



8月

障がい者と健康者の交流を通じた理解促進と支援の輪の拡大

第1回 北海道みらい運動会
～みんなでチャレンジ！バラスポーツ～

10月

北海道みらい運動会の様子や、北海道出身のオリパラ選手などの活躍を紹介

広報紙「ほっかいどう」で特集、広報番組
（STV12/17）放送

12月

総合型地域スポーツクラブの設置促進・質的向上

SC(総合型地域スポーツクラブ)カンファレンス

1月

子ども達に複数の競技体験をする場を提供・すそ野拡大

きたえーるトップアスリートチャレンジ2023

2月

スポーツを通じた健康づくり、競技力向上、スポーツ障害予防を考える

北見工大、札医大と協力し、「スポーツ医・科学セミナー」開催（北見・札幌）

3月

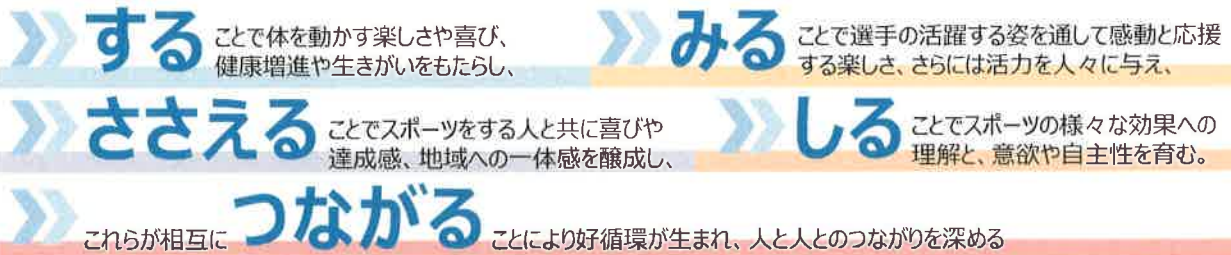


2023の展開

mission

スポーツ推進条例の理念を実現し、本道スポーツ振興の「要」となります

スポーツの持つ力



これらを最大限活用し、

三つの視点でスポーツに親しむことができる環境づくりを促進

道民だれでも

子どもから高齢者まで
性別や障がいの有無に関係なく

生涯いつでも

全道どこでも

三つの推進方向で施策を推進

スポーツで優しい
共生社会をつくります
(スポーツでつくる優しい共生社会)

スポーツへの参加
気運を高めます
(スポーツ参画人口の拡大とライフステージ
に応じたスポーツのあるくらしの充実)

スポーツと地域を
結びつけます
(スポーツによる地域活性化)

新たな計画とともに踏み出す2年目

三つの推進方向

スポーツで優しい
共生社会をつくります

オール北海道でスポーツ医・科学支援体制の構築と知見の普及

schedule

スポーツ医・科学シンポジウム

New!

9月

スポーツへの
参加気運を高めます

子ども×障がい者×プロスポーツ選手の交流によるスポーツ参加の気運醸成

schedule

北海道ボッチャフェス2023

New!

9月

スポーツと地域を
結びつけます

障がい者と健常者の交流を通じた理解促進と支援の輪の拡大

schedule

第2回 北海道みらい運動会
～みんなでチャレンジ！パラスポーツ～

10月

今年の北海道は国際的・全国的な
規模のスポーツ競技会が目白押し！

総合型地域スポーツクラブの設置促進・質的向上

schedule

SC(総合型地域スポーツクラブ)カンファレンス

1月
頃

子ども達に複数の競技体験をする場を提供・すそ野拡大

schedule

きたえーるトップアスリートチャレンジ

1月
頃

More!!

SNS (Twitterやnote) を活用して全道各地の
様々なスポーツに関する情報を発信

note

36年ぶりの

全国高等学校総合体育大会
(インターハイ)

5年ぶりの

・ワールドカップスピードスケート大会
(帯広市)

・国民スポーツ大会冬季大会(苫小牧市)
※名称変更後初大会

主催 北海道×北海道スポーツみらい会議
共催 北海道スポーツ医・科学コンソーシアム

北海道スポーツ医・科学コンソーシアム スタート記念シンポジウム



北海道スポーツ
みらい会議

北海道のスポーツと 医・科学の未来

講演

スポーツ医・科学が目指すこれからの役割
～ ハイパフォーマンスからライフパフォーマンスへ～

北海道スポーツ医・科学コンソーシアム
運営委員会委員長

片寄 正樹 氏（札幌医科大学保健医療学部長）



対談

北海道のスポーツと医・科学の未来について

ゲスト：長野五輪 男子スピードスケート金メダリスト

清水 宏保 氏

（株式会社two.seven代表取締役）

聞き手：北海道スポーツ医・科学コンソーシアム専門委員会委員

渡邊 耕太 氏（札幌医科大学附属病院スポーツ医学センター長）

お申込は
こちら！



令和5年（2023年）9月5日（火） 18時開演
京王プラザホテル札幌 地下1階プラザホール
（札幌市中央区北5条西7丁目2-1）

参加は無料です。参加ご希望の方は、
8月31日（木）までにQRコードからお申し込みください。

【お問い合わせ】北海道環境生活部スポーツ局スポーツ振興課スポーツ振興係
Tel:011-204-5209 Mail:kansei.sports@pref.hokkaido.lg.jp

講演者プロフィール

清水 宏保

**長野五輪 男子スピードスケート金メダリスト
株式会社two.seven代表取締役**

1974年2月27日、北海道帯広市生まれ。
スピードスケート日本代表として、1998年の長野オリンピックに出場し、男子500メートルで日本のスピードスケート選手として初の金メダル、1000mでも銅メダルを獲得。また、2002年ソルトレークシティオリンピックでは、男子500メートルで銀メダルを獲得した。2010年3月に現役引退後、日本大学大学院医療経営学修士課程、弘前大学大学院社会医学講座博士課程修了。
現在、(株)two.seven代表取締役として、利用者の方々のヘルスクアを全面的にサポート・提案するために、介護事業とフィットネス事業を中心に手がけている。



片寄 正樹

**札幌医科大学 理事・保健医療学部長
元 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
医療サービス部 選手村医療担当課長
北海道スポーツ医・科学コンソーシアム 運営委員会委員長**

札幌医科大学衛生短期大学部を経て、1999年カナダアルバータ大学大学院理学療法学修士課程修了。2007年札幌医科大学教授に就任、2022年4月から現職。専門分野はスポーツ理学療法や運動器障害理学療法、スポーツ医学。東京オリンピック・パラリンピックでは選手村診療所の運営にあたったほか、令和4年度にはスポーツ庁「地域におけるスポーツ医・科学支援の在り方に関する検討会議」委員を務めている。



渡邊 耕太

**札幌医科大学 保健医療学部理学療法学科 教授
附属病院スポーツ医学センター長
日本スケート連盟医事委員 全日本スキー連盟情報・医・科学部副委員長
元 日本オリンピック委員会医学サポート部員**

札幌医科大学医学部卒業後、附属病院等を経て、2014年札幌医科大学教授に就任、2022年4月から現職。専門分野は足部・足関節外科、膝関節外科、スポーツ医学など。バンクーバー、ソチ、ピョンチャン、そして北京と、4大会連続で冬季五輪選手団の本部ドクターに就任するなど、長年にわたりスポーツ医学活動に携わっている。また、清水宏保氏の現役時代にはメディカルサポートを担当。



【北海道スポーツ医・科学コンソーシアムとは…】

冬季競技の年代別トップアスリートや、道内各地域に潜在する高い競技能力を持つ部活動アスリートに焦点をあてたスポーツ医・科学支援体制を構築し、競技力の向上を目指すことを目的として、令和5年7月19日に、(公財)北海道スポーツ協会、北海道、札幌市及び札幌医科大学の4者がコンソーシアムの中核団体として連携し設立しました。今後、スポーツ関係団体、道内大学、医療機関、行政等にご参加いただき、オール北海道で地域のアスリート等へ支援を行う体制づくりを進めてまいります。

北海道ボッチャフェス2023

年齢や性別、障がいの有無にかかわらず誰もが気軽に参加できるボッチャを通じて、障がい者スポーツの理解を深めると共に、地域での支援の輪を広げるため「ボッチャ競技大会」を開催。35チーム約160名の皆さんにご参加いただきました。

■名称：

北海道ボッチャフェス2023

■日程：2023年9月23日(土)

■実施場所：エスコンフィールドHOKKAIDO 3rd BASE GATE

■主催：北海道、北海道スポーツみらい会議

■共催：一般社団法人日本ボッチャ協会、公益財団法人北海道障がい者スポーツ協会

■協賛：近畿日本ツーリスト株式会社

■協力：北海道ボッチャ協会、株式会社ファイターズスポーツ&エンターテインメント、北海道医療大学、北海道ハイテクノロジ専門学校

■後援：北広島市、北広島市教育委員会

■大会内容：ボッチャ競技 全38チームによるチーム戦
(リーグ戦実施後、上位チームによるトーナメント方式を実施)

■表彰：上位3チームを表彰

※優勝チームは「ボッチャ東京カップ2024」本大会への出場。(2024年3月
東京都武蔵野総合体育館予定)

※副賞：旅行券20万円分を贈呈(近畿日本ツーリスト株式会社)



北海道みらい運動会2023

「北海道スポーツみらい会議」参画団体等から、年齢、性別、障がいの有無等に
関わらず、12チーム20企業団体から137名の皆様にご参加いただきました。

■名称：

北海道みらい運動会

～みんなでチャレンジ！バラスポーツ～

- 日程：2023年10月14日(土)
- 実施場所：北ガスアリーナ札幌46 アリーナ
- 主催：北海道、北海道スポーツみらい会議
- 共催：札幌市
- 協賛：北海道コカ・コーラボトリング株式会社、サン
石屋製菓株式会社、株式会社明治、サ
トリーフーズ株式会社
- 協力：公益財団法人北海道障がい者スポーツ協
会、北翔大学、北海道ハイテクノロジ
専門学校、北海道オールオリンピックス、
北海道ポッチャ協会、札幌福祉医療器株
式会社
- 大会内容：全12チームによるチーム戦
- ①ゴールボール
②ポッチャ
③車いすバスケットボール
④車いすリレー
※企業PRブース、ポッチャ体験ブース
を設置
- 表彰：上位3チームを表彰
※副賞…協賛品(コカ・コーラ、白い恋
人、お菓子詰合、グリーンダカラやさ
しい麦茶)



集合写真



ポッチャ



車いすリレー



車いすバスケットボール

「スポーツチャレンジ教室」開催実績

＜開催目的＞

世界の第一線で活躍するアスリート等によるスポーツ体験教室を開催し、子どもたちに対しスポーツの楽しさや魅力を伝え、スポーツに対する興味関心や積極的な参加の機運を高めることを目的とする。

＜共通講師＞

鈴木 靖氏(サラエボ五輪 スピードスケート日本代表、北海道オール・オリンピックズ ゼネラルマネージャー)



実施競技：陸上

実施日：2023年9月5日(日)

実施市町村：池田町

参加人数：28人



実施競技：バスケットボール

実施日：2023年9月23日(土)

実施市町村：釧路町

参加人数：35人

久保倉 里美 氏

(北京五輪、ロンドン五輪、リオデジャネイロ五輪
陸上競技日本代表、新潟アルビレックスランニング
クラブヘッドコーチ)

折茂 武彦 氏

(レバンガ北海道 元選手(現代表取締役社長))
スティーン ジェームス佑樹 氏
(レバンガ北海道 コーチ)



実施競技：陸上

実施日：2023年9月24日(日)

実施市町村：中標津町

参加人数：41人



実施競技：バレーボール

実施日：2023年9月30日(土)

実施市町村：湧別町

参加人数：28人

右代 啓祐 選手

(ロンドン五輪、リオデジャネイロ五輪
十種競技日本代表)

成田 郁久美 氏

(アトランタ五輪・アテネ五輪 日本代表、
「アルテミス北海道」監督)



実施競技：陸上

実施日：2023 年 10 月 7 日(土)

実施市町村：上川町

参加人数：29 人

高平 慎士 氏

(アテネ・北京・ロンドン五輪 陸上競技日本代表、
男子 400m リレー銀メダリスト、富士通株式会社
陸上部コーチ)



実施競技：バスケットボール

実施日：2023 年 10 月 8 日(日)

実施市町村：士別市

参加人数：59 人

矢代 直美 氏

(アテネ五輪 バスケットボール女子日本代表)



実施競技：バレーボール

講師：2023 年 10 月 9 日(月・祝)

実施市町村：和寒町

参加人数：49 人

越川 優 氏

(北京五輪日本代表、2007 年ワールドカップ
バレーボール出場)